



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長
四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 多田 久樹
(氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	157,156	14.1	2,875	57.6	2,950	50.5	2,724	186.0
25年3月期第3四半期	137,793	△1.6	1,824	△0.2	1,960	△1.9	952	505.5

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 3,172百万円 (228.1%) 25年3月期第3四半期 967百万円 (177.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	25.94	25.77
25年3月期第3四半期	9.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	100,756	21,294	21.0
25年3月期	83,245	18,683	22.1

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 21,132百万円 25年3月期 18,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,000	5.6	3,100	33.4	3,100	37.0	3,300	160.0	31.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	109,282,837 株	25年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	4,250,686 株	25年3月期	4,248,359 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	105,032,959 株	25年3月期3Q	105,034,728 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2 P
(1) 経営成績に関する説明	2 P
(2) 財政状態に関する説明	3 P
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3 P
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4 P
3. 四半期連結財務諸表	5 P
(1) 四半期連結貸借対照表	5 P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7 P
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9 P
(継続企業の前提に関する注記)	9 P
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9 P
(セグメント情報等)	9 P

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国財政協議を巡る先行き不透明感や新興国経済の景気減速懸念、回復の遅れている欧州経済など下振れ要因は残っているものの、一方で企業の設備投資や輸出に持ち直しの傾向が見られ、個人消費も拡大しており、緩やかに回復していると言えます。

水産・食品業界におきましては、多少値段が高くとも高品質な商品の売れ行きが伸びるなど、従来の低価格志向と異なる動きも出てきましたが、円安の影響による原材料コストの上昇もあり、厳しい状況を脱し切れておりません。

このような状況のもと当社グループでは、中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』2年目の目標達成に向けて取り組んでおります。また市販商品ブランド『シーマルシェ』を発表すると共に、宮城県塩釜市に新工場を建設することを決定し、家庭用冷凍食品分野への進出も進めております。

水産商事セグメントでは、堅調に推移した水産物市況を背景に、赤魚、ほっけ、さばなどの切身品、定塩さけ製品、伸ばしえびや生食用さけ・えび製品など、より加工度を増した利益率の高い製品の拡販に努めました。その結果、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

冷凍食品セグメントでは、寿司種を中心とした生食用商品の販売が順調に進みました。『だんどり上手』シリーズとして他社との差別化を図った骨なし切り身商品は、アイテムを拡充し医療食や事業所給食向けに拡販を図りました。また、量販店や外食産業向けにエビフリッターなどの調理品やかに風味かまぼこの販促に努めました。その結果、この部門の売上は前年同期を上回りましたが、円安や生産コストの上昇、販売競争の激化により、利益は下回りました。

常温食品セグメントでは、さんまやさばなどの水産缶詰の他に、輸入缶詰や畜肉缶詰、海産珍味類などを量販店や大手コンビニルートへ拡販するとともに新規商材の開発に努めました。その結果、売上は前年同期を上回ったものの、円安や原材料価格高騰による製品のコストアップに対し、販売価格への転嫁が遅れたことにより、利益は下回りました。

物流サービスセグメントにおける冷蔵倉庫事業では、設備の老朽化対策など必要な投資を行い、事業の効率化と営業力強化に努めました。冷蔵運搬船事業は、大幅にスリム化された船体編成のもと年間契約を中心に配船するなど効率のよい運航に努めました。その結果、この部門の売上は前年同期を下回ったものの、利益は上回りました。

鰹・鮪セグメントにおける加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートを活用した加工品の販路拡大と在庫水準の適正化を図りました。養殖事業は、「本鮪の極」の市場でのブランド力が定着し、順調に販売が進みました。一方で、依然としてヨコワ(稚魚)の確保は苦戦しており、集魚エリアの拡充を図るとともに、完全養殖体制の早期実現に向けた孵化魚の育成に努めました。海外まき網事業は、魚価は堅調に推移したものの、近海操業の不漁や、稼働日数の減少により漁獲量が低迷したことから伸び悩みました。その結果、この部門の売上・利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,571億56百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は28億75百万円(前年同期比57.6%増)、経常利益は29億50百万円(前年同期比50.5%増)、四半期純利益は27億24百万円(前年同期比186.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ175億10百万円増加し、1,007億56百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金並びにたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ172億59百万円増加し、797億27百万円となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産ともに減価償却により減少したものの、投資有価証券の評価差額などの影響により、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加し、210億28百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金並びに借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ148億99百万円増加し、794億61百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ26億11百万円増加し、212億94百万円となりました。

この結果、自己資本比率は21.0%(前連結会計年度末比1.1ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成25年10月21日に公表した業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,888	4,637
受取手形及び売掛金	22,579	36,630
たな卸資産	32,307	33,995
その他	3,719	4,499
貸倒引当金	△26	△35
流動資産合計	62,467	79,727
固定資産		
有形固定資産	11,281	10,722
無形固定資産		
のれん	196	111
その他	378	347
無形固定資産合計	575	458
投資その他の資産		
投資有価証券	5,185	6,836
その他	3,745	3,015
貸倒引当金	△11	△3
投資その他の資産合計	8,920	9,848
固定資産合計	20,778	21,028
資産合計	83,245	100,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,183	9,045
短期借入金	23,191	29,755
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,288	1,063
引当金	722	333
その他	6,960	8,044
流動負債合計	49,345	58,243
固定負債		
新株予約権付社債	—	3,000
長期借入金	8,153	12,190
退職給付引当金	5,832	5,009
その他の引当金	98	80
資産除去債務	51	51
その他	1,081	887
固定負債合計	15,216	21,218
負債合計	64,562	79,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,846	15,045
自己株式	△747	△748
株主資本合計	18,512	20,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△113	212
繰延ヘッジ損益	142	144
為替換算調整勘定	△104	63
その他の包括利益累計額合計	△75	421
少数株主持分	245	161
純資産合計	18,683	21,294
負債純資産合計	83,245	100,756

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	137,793	157,156
売上原価	121,981	140,290
売上総利益	15,811	16,866
販売費及び一般管理費	13,986	13,991
営業利益	1,824	2,875
営業外収益		
受取利息	50	52
受取配当金	97	88
補助金収入	104	112
為替差益	52	46
その他	145	124
営業外収益合計	451	423
営業外費用		
支払利息	286	286
その他	28	62
営業外費用合計	315	349
経常利益	1,960	2,950
特別利益		
固定資産処分益	13	2
厚生年金基金代行返上益	—	1,267
企業結合における交換利益	—	197
投資有価証券売却益	—	16
国庫補助金	30	—
特別利益合計	44	1,484
特別損失		
固定資産処分損	3	24
投資有価証券評価損	54	—
その他	3	—
特別損失合計	61	24
税金等調整前四半期純利益	1,942	4,410
法人税、住民税及び事業税	1,062	1,599
法人税等調整額	△48	253
法人税等合計	1,014	1,853
少数株主損益調整前四半期純利益	928	2,556
少数株主損失(△)	△24	△168
四半期純利益	952	2,724

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損失(△)	△24	△168
少数株主損益調整前四半期純利益	928	2,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	326
繰延ヘッジ損益	20	2
為替換算調整勘定	△68	287
その他の包括利益合計	38	616
四半期包括利益	967	3,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,030	3,221
少数株主に係る四半期包括利益	△63	△48

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	63,371	38,919	11,642	2,756	21,051	52	137,793	—	137,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,441	2,301	132	775	766	651	19,069	△19,069	—
計	77,812	41,221	11,774	3,532	21,818	703	156,862	△19,069	137,793
セグメント利益又は 損失(△)	1,058	338	120	△325	866	80	2,139	△314	1,824

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額314百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用443百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	79,407	42,097	13,053	2,279	20,264	54	157,156	—	157,156
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,983	2,599	132	718	1,012	632	21,080	△21,080	—
計	95,391	44,697	13,185	2,998	21,276	687	178,237	△21,080	157,156
セグメント利益又は 損失(△)	2,813	13	17	△1	530	96	3,469	△593	2,875

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額593百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用553百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。